

再発見！ まち自慢！



久連子古代踊り

旧泉村 (泉町)

人口 2,675人 面積 266.59km²

【名所】

- ◆せんだん轟の滝
- ◆樅木の吊り橋、梅の木轟の吊り橋
- ◆ふれあいセンターいずみ
- ◆平家の里
- ◆久連子古代の里
- ◆左座家、緒方家など

【イベント】

- ◆特産品まつり(6月)
- ◆五家荘紅葉祭(11月ごろ) など
- ココいちおし！《五家荘》**

山林が土地の約94%を占める泉町は、西部は八代海に注ぐ氷川の流域に集落や耕地が点在し、東部は川辺川の流域で九州山脈が連なっています。

九州最後の秘境と呼ばれる五家荘地域には、九州中央山地国定公園に代表される自然資源、平家落人伝説などの歴史資源を有し、紅葉の時期には、毎年多くの観光客が訪れます。



平家の里



石橋公園

旧東陽村 (東陽町)

人口 2,780人 面積 64.56km²

【名所】

- ◆交流センター「せせらぎ」
- ◆菜摘館
- ◆石橋公園
- ◆石匠館など

【イベント】

- ◆しょうが祭り(10月)
- ◆稚児舞(10月) など

ココいちおし！

《交流センター「せせらぎ」、菜摘館、石橋公園》

今春にオープンしたばかりの交流センター「せせらぎ」は、天然かけ流し温泉や地元で採れた野菜が食べ放題のレストランなどを併設した複合施設です。隣接する菜摘館では、新鮮な地元の農産物や加工品などを販売しています。

同じく、今春オープンした石橋公園は、広い芝生のグラウンドと色鮮やかな遊具が人気で、休日は多くの親子連れでにぎわいます。



交流センター「せせらぎ」



赤星公園

旧鏡町 (鏡町)

人口 16,260人 面積 28.24km²

【名所】

- ◆鏡ヶ池公園
- ◆赤星公園《水竹居の館・六角堂》
- ◆大鞘樋門群(両出～古閑出) など

【イベント】

- ◆印にやく神社春季大祭「鮎取り神事」(4月)
- ◆ふる郷愛鏡祭(5月)
- ◆十八夜祭(7月)
- ◆貝洲加藤神社秋季例大祭(9月) など

ココいちおし！

《鮎取り神事》

かつて蘇我石川宿禰が当地を訪れたとき(旧正月)、悪天候で海での漁が困難だったことから、土地の若者たちが氷の張った鏡ヶ池に裸で飛び込み、鮎を手づかみにして御前に供したことから始まったとされています。お神酒で清めた締め込み姿の若者数十人が、鮎や泥を見物人に投げつけ、泥がかかればその年は無病息災と言われています。



鮎取り神事



イグサ

旧千丁町 (千丁町)

人口 7,098人 面積 11.18km²

【名所】

- ◆岩崎神社
- ◆大鞘樋門群(古閑出～両出) など

【イベント】

- ◆い草の里まつり(10月)
- ◆岩崎神社春期大祭(4月)、秋期大祭(11月)
- ◆竜神社秋の大祭(10月) など

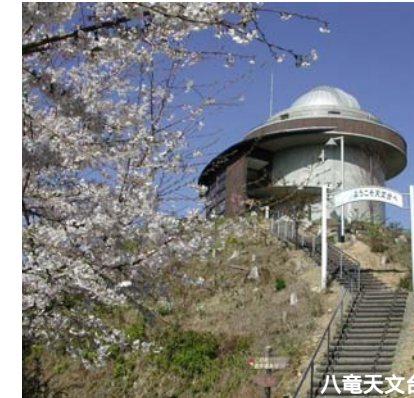
ココいちおし！

《いぐさの里公園》

子どもたちに大人気の遊具エリアには、幼児でも楽しめるスプリング遊具などの動きの少ない遊具から大規模遊具などが充実しています。また広々とした芝生広場や東屋、噴水、緑豊かな花壇など、大人も楽しめる緑豊かな公園です。隣には、文化ホールや温泉施設のあるパトリア千丁や地元農産物などを販売する美湯菜館があります。



パトリア千丁



八竜天文台

旧坂本村 (坂本町)

人口 5,553人 面積 162.82km²

【名所】

- ◆さかもと温泉センター「クレオン」
- ◆八竜天文台
- ◆荒瀬ダムポートハウス
- ◆広域交流センターさかもと館〈道の駅「坂本」〉など

【イベント】

- ◆ふるさとまつり(11月) など

ココいちおし！

《荒瀬ダム ポートハウス》

荒瀬ダム湖では、気軽にカヌーやボートで遊ぶことができます。また、インストラクターの指導で(要予約)初心者でも楽しめます。ポートハウスは、ポート貸出しはもちろん、トレーニングルームや宿泊できる和室、シャワー施設などもあり、合宿などにもおすすめです。

開館時間 9:00～16:00

休館日 月曜日

料金 1回1人200円



荒瀬ダムポートハウス



松濱軒

旧八代市

人口 105,327人 面積 146.71km²

【名所】

- ◆八代城址
- ◆八代神社
- ◆松濱軒
- ◆市立博物館未来の森ミュージアム
- ◆日奈久温泉 など

【イベント】

- ◆城下町やつしろのお雛祭り(2月)
- ◆くま川祭り(8月)
- ◆やつしろ全国花火競技大会(10月)
- ◆みなと八代フェスティバル ※今年は10/29～30
- ◆妙見祭(11月) など

ココいちおし！《球磨川河口》

昨年、国際的な渡り鳥保護のための「東アジアオーストラリア地域シギ・チドリ類重要生息地ネットワーク」に、国内8カ所目として参加が承認された球磨川河口は、まさしく渡り鳥の楽園。また万葉の里として知られる水鳥も近く、夕日に赤く染まる風景は絶景。



球磨川河口